



## ふくしなんでも相談窓口がスタートしました！

令和4年4月1日より、松江市社会福祉法人連絡会に

参加している **20の事業所**に設置しました。

まつえワンラブ  
ふくしなんでも相談窓口

松江市社会福祉法人連絡会



ふくしなんでも相談窓口  
～特別養護老人ホーム東寿苑～

この看板が目印！

ふくしなんでも相談窓口では、「高齢者」「障がい者」「子ども」といった担当分野にとらわれない福祉の相談を受け付け、各専門機関やふくしなんでも相談所へつないでいきます。



次のページも  
ご覧ください！

なんでも相談窓口を設置している  
事業所をご紹介します！



## ふくしなんでも相談窓口一覧

※順不同

- ◆厚生センター
- ◆障がい支援施設 しののめ寮
- ◆共同生活援助事業所わこう苑
- ◆特別養護老人ホームゆめハウス
- ◆双樹学院
- ◆ライトハウスライブラリー
- ◆特別養護老人ホーム東寿苑
- ◆特別養護老人ホーム明翔苑
- ◆みずうみ支援センター
- ◆くらしと地域を結ぶ カラフル大輪
- ◆みずうみ保育園
- ◆法吉保育所
- ◆地域密着型サービス事業所 あさひ乃苑
- ◆本庄保育所
- ◆指定相談支援事業所 山の花
- ◆マリン保育所
- ◆みずうみ公益事業部
- ◆恵曇保育所
- ◆特別養護老人ホーム津田の里
- ◆野波保育所



### さらに！

令和4年4月1日より、  
市内の薬局13カ所が  
「ふくしなんでも相談所連携薬局」  
としてご相談を受け付けています。



このステッカーが目印！

## ふくしなんでも相談窓口とは…

この事業は松江市社会福祉法人連絡会が、社会福祉法第24条第2項に規定される「地域における公益的な取組」として取り組む事業です。

社会福祉法人にふくしなんでも相談窓口を置き、潜在的な福祉課題のキャッチに努め、これらの改善・解決を図ることを目的としています。

社会福祉法人の強みを活かし「身近で」「信頼できる」相談窓口を整えていくため、縦割では対応が難しい地域社会の多様な福祉ニーズに「社会福祉法人だから応えられる」よう進めていきます。

～市民の皆様がより安心できる体制づくりへ～

参加したい会員法人がありましたら、ぜひ事務局までお知らせください！

## 社会福祉法人 松豊会

## 社会貢献活動

当法人が掲げている「安らぎのある生活 その人がその人らしく 地域と共に」の理念実現に向け、開設当初から地域の方への地域開放やボランティア、の受け入れ等、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。現在は、松江市社会福祉協議会や他の法人とも連携し老人福祉の特性を活かしながら、協働して多様化する福祉のニーズに取り組んでいます。

具体的な取り組みを紹介します。施設開放～無料。 ボランティア～令和4年度登録者数69名：洗濯仕分や合唱など、団体グループの他、個別で利用者様の傾聴や読み聞かせ等、個人ボランティアとして活動して頂いています。明神さわやか会（なごやか寄り合い事業）との協働事業：さわやか会行事への利用者様参加、介護予防体操、そば打ち、春秋のイベント協働企画開催。自治会～協働での総合防災訓練実施（年1回）、福祉防災マップ作成（毎年更新）。地域連携委員会～自治会長、さわやか会会長、地区民生児童委員、市社協、法人各部署委員で構成し、行事の企画や地域や法人で抱える問題について協議を行っています。

福祉ニーズの多様化に伴い、市社協並びに市内各法人と協働し福祉への理解や仕事の魅力を伝えるため「介護の基礎的的事业」や出前授業を通じて、管内各小中学校に出掛け講義や体験学習を行っています。さらに、今年度は「ふくしなんでも相談窓口」を設け、老人福祉の枠に留まらず障がい者、生活困窮者、引きこもり等、福祉全般の総合窓口として看板を掲げました。

しかし、新型コロナの発生により施設の開放やボランティアの受け入れ等、多くの取り組みを中止せざるをえなくなりました。一日も早い社会貢献活動の再開を、法人はもとより地域の皆様からも声を頂いています。

終わりに、明神さわやか会外谷定之会長のメッセージを紹介し、当法人の社会貢献事業への取り組みの紹介とします。



△出前授業「車イス体験学習」



明神さわやか会  
外谷定之会長

### 一日も早い活動の再開を

長年にわたり、津田の里さんと一緒に多くの事業を共にさせて頂いています。自治会に手頃な集会所がないことから、会議やイベントの会場として使用させて頂いたり、毎月さわやか会の会場として併せて介護予防体操への取り組みも行なっています。さらに、ボランティア活動を通じて社会参加の場を提供して頂き喜んでいきます。

一日も早いコロナの収束により、様々な活動が再開される日を、心待ちにしています。



△地域連携委員会



△地域の皆さんと総合防災訓練



△自治会の皆さんとの協働イベント  
(春・秋のふれあい交流まつり)



## 児童養護施設 双樹学院



### 〈施設紹介〉

児童養護施設<sup>そうじゅがくいん</sup>双樹学院は戦災孤児の養護育成を目的として1945年に設立されました。現在、両親のいない児童、虐待を受けている児童、その他環境上養護を必要とする児童（定員60名）を受け入れています。

双樹学院には、二つの寮と小規模グループホーム「有隣<sup>ゆうりん</sup>（平成29年完成）」と「梅檀<sup>せんだん</sup>（令和4年完成）」があり、児童（2才～18才）及び高校卒業後自立を目指す者と職員とが家庭的な雰囲気の中で共同生活しながら、幼稚園や学校あるいは職場へ通っています。

敷地内には、双樹神社や数多くの樹木、畑などがあり、子ども達は毎日、虫を採ったり木の実を食べたりしながら元気に走り回っています。

また、年間を通して活発に行われる、ひな祭りや餅つきといった季節行事、海水浴や遠足などの野外活動、5月のお好みまつりや年送り会、里親やボランティアとの交流などを通して情操を豊かに、社会性を育みます。また、学習塾通い、公文、川柳会などの学習支援に加え、常勤の心理士と非常勤のカウンセラーによるカウンセリング、ミュージックケアやホースセラピーといった取り組みによって心理的ケアも行っています。

このように、双樹学院では職員一丸となって、子ども達の権利擁護の場として、愛情と責任を基に、子ども達の幸せと心豊かで健やかな成長を見守り、その社会的自立を支援しています。

### 〈社会貢献〉

①松江市社会福祉法人連絡会「地域における公益的な取り組み」の一環としての「物品・機材貸出し」及び「ふくし何でも相談窓口」 ②夏祭り等地域行事の共催 ③地域の集会所の運営管理

